

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号5-1

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	母子保健事業			
評価者	担当課・係名	保健福祉課・保健係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	葛西 隆	職名
				氏名
				佐々木希美枝
事業の概要	子育て中の保護者・児童の健康増進と疾病の早期発見・適切な対応及び育児支援を図るため、母子健康手帳の交付及び乳幼児に対する健康診断等を実施する。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	
	基本政策	6	保健・医療の充実	
	単位施策	3	母子保健の充実	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	母子保健法		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	1,817千円	1,356千円	1,845千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	1,817千円	1,356千円	1,845千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	乳幼児及び保護者	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	乳幼児期の心身の健全な発達及び育児を楽しみながら行うこと		乳幼児健診の受診率		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	育児を楽しみながら行う事ができ、乳幼児期に健全に発達発育を遂げる事ができる		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	楽しみながら育児を行う町民が増える。健康的に発達する児童が増える。		① 3歳児健診の受診率	目標年度	19年度
			目標値	98%	
			実績値	97.5%	
			達成度	99.5%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①妊婦への支援	母子健康手帳及び妊婦一般健康診査受診票の交付、母親(両親)学級の開催、必要時訪問による面接・相談対応				
②産婦・乳幼児への支援	訪問指導、乳幼児健診(3・4か月、9・10か月、1歳6か月、3歳)、乳幼児健康相談(6・7か月、1歳、2歳)、養育者支援関連事業(新生児期・3・4か月児期の児童虐待予防のｱｾｽﾐﾝﾄ・支援)、母乳育児相談(タッチケア講座)、離乳食教室等				
③母子保健サービスに対する保護者の意見反映	母子保健サービス改善事業により、子育て中の保護者から、母子・子育て支援関連事業等に対する意見を聴取し改善を図る				

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部	妊産婦から乳幼児期前半の児童・保護者にとって変化や不安の多い時期に事業を実施する事が必要と考える。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	健診や相談事業の参加率は高く、個別の相談対応により課題解決を図る事ができたと考える。
有効／概ね有効／課題あり		

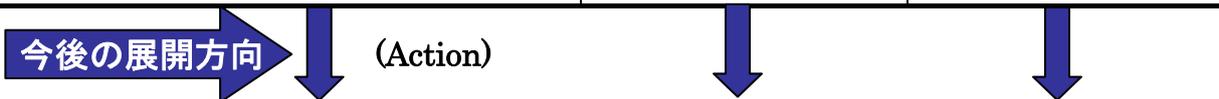
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	子育て支援センター等関係機関との連携により、重複する内容を避け、内容を検討の上実施することで効率的な実施に努めている。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
乳幼児期の適切な時期に、各種事業を関連付けて実施し、児童・保護者の健康増進と育児支援に効果があったと考える。		



継続／拡充		
関係機関との連携により、今後も乳幼児期の重要な時期に適切な支援ができるよう事業の実施が必要と考える。 20年度からは妊婦一般健康診査受診券の交付枚数が増となるため事業費が増となる予定である。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号5-2

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	地域保健予防事業			
評価者	担当課・係名	保健福祉課・保健係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	葛西 隆	職名
				氏名
				佐々木希美枝
事業の概要	生活習慣病の発症及び重症化を予防することを目的に、基本健診・健康相談等を実施する。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	
	基本政策	6	保健・医療の充実	
	単位施策	2	成人保健の充実	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	老人保健法		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	5,600千円	5,029千円	2,183千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	725千円	989千円	1,345千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	生活習慣病の発症・重症化の防止		健診受診率								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	生活習慣病を発症する方が減少する		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	病気にかからず健康的に生活できる町民が増える		① 基本健診受診率	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>42.9%</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>66%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	65%	実績値	42.9%	達成度
目標年度	19年度										
目標値	65%										
実績値	42.9%										
達成度	66%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①保健事業の実施	基本健診・健康相談・訪問指導等を実施し、生活習慣病予防の意識や知識の啓発を行った。										
②生活習慣病予防に関する啓発	広報おうむへの記事の掲載などにより、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)等生活習慣病に関する情報提供を行った。										
③											

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部	40 歳以上の町民を対象とした健診・健康相談等は法律の規定により市町村に実施の義務がある。また、生活習慣病の予防は町民の生活の質 (QOL) の維持のために重要な課題と考える。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input checked="" type="checkbox"/> 下回る	健診受診率は目標値を下回ったが、国保ヘルスアップ事業等関連する事業の実施も含めて、保健指導を強化することができた。
有効／概ね有効／課題あり		

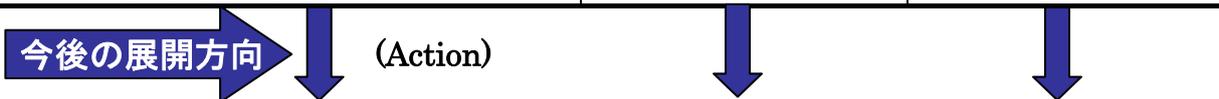
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	健診委託先・健診単価の見直し等により効率化を図っている。今後も実施方法・内容を精査しながら事業を継続する。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
B	B	
本事業の大部分が 20 年度より国民健康保険が実施する特定健診・特定保健指導に移行するが、町民全体を対象とした生活習慣病予防に関する意識・知識の啓発と 40 歳未満の若年層等への健診等は継続して実施する。		



継続／縮小	継続／縮小	
本事業の大部分は国保事業へ移行するが、本事業としては 30 歳代の早期から健診・保健指導等を実施することで、事業の成果を実現していきたいと考える。	事業の大部分が国保事業に移行するため、本事業としては縮小となるが、内容的には縮小ではない。	

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合
 終了
 休止
 廃止

5 その他特記事項

--

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号5-3

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	保健活動用車両更新事業			
評価者	担当課・係名	保健福祉課・保健係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	葛西 隆	職名
				氏名
				佐々木希美枝
事業の概要	家庭訪問・健康相談等の事業実施に必要な車両を更新する。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		<input type="checkbox"/> 非登載事業
	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	
	基本政策	6	保健・医療の充実	
	単位施策	1	主体的な健康づくりの促進	
	事務事業の種類	■自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	0千円	1,412千円	0千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	0千円	1,385千円	0千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	年代や生活習慣等に起因する健康管理に関する課題の発生		必要な活動車両の確保状況								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	保健事業の利用により健康課題が軽減又は解決する		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	健康的で町民自身が希望する生活を送る町民が増える		① 更新した車両の台数	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	1台	実績値	1台	達成度
目標年度	19年度										
目標値	1台										
実績値	1台										
達成度	100%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①車両の更新	使用年数が長期に渡り老朽化した車両を更新した。										
②											
③											

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	保健事業を実施する上で、家庭訪問や町内各所の会館へ出向いて事業を実施する事が重要であり、車両の確保が必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	旧車両の状態は老朽化により運行に支障を来たしていたが、車両を更新したことで、安全に運行が可能となり保健事業も円滑に進める事ができた。
有効／概ね有効／課題あり		

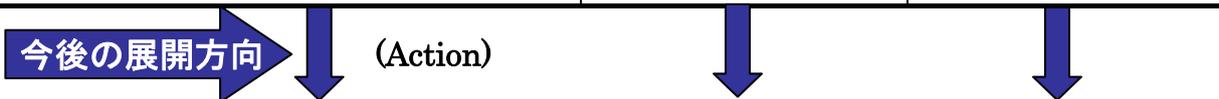
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	保守管理費や燃費等も考慮し、効率的な車両を購入する事ができた。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当
 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要
 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
状況を判断しながら、計画的に車両を更新し、保健事業の実施体制の確保が必要と考える。		



継続／現状維持		
第5期計画においては平成23年度に車両の更新を計画している。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合
 終了
 休止
 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号5-4

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	がん検診事業			
評価者	担当課・係名	保健福祉課・保健係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	葛西 隆	職名
				氏名
				佐々木希美枝
事業の概要	胃がん他の早期発見・早期治療及びがんの予防等に関する啓蒙を目的に、がん検診を実施する			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	
	基本政策	6	保健・医療の充実	
	単 位 施 策	2	成人保健の充実	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	がん対策基本法		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	1,874千円	1,616千円	1,875千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	1,260千円	1,070千円	1,414千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	がんによる健康障害が発生する危険性がある		検診受診率								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	がんの予防及び早期発見が可能となる		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	がんによる健康問題を抱える町民が減少する		① がん検診受診率の増	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>4.9%</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>49%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	10%	実績値	4.9%	達成度
目標年度	19年度										
目標値	10%										
実績値	4.9%										
達成度	49%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①各種がん検診の実施	胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診を集団又は個別で実施した。										
②がんの予防・検診等に関する広報	検診受診者や町広報にがん検診や予防に関する情報提供を行った。										
③											

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	多くの町民は職域等においてがん検診を受ける機会がなく、必要性が高い事業と考える。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

課題あり	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input checked="" type="checkbox"/> 下回る	一時期よりは受診数・受診率は向上しているが、目標を下回っている。
有効／概ね有効／課題あり		

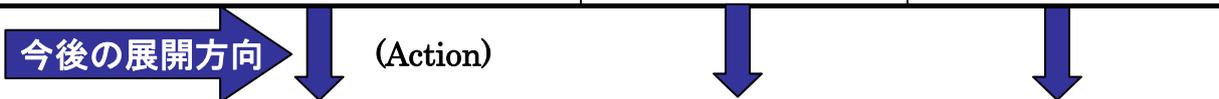
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	医療機関・検診センターへ委託し、対象者が重複する他の健診事業と同時に実施する等によりコストの削減に努めた。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
B	B	
がんは死因の1位で重要な健康課題であり、検診の実施は早期発見・早期治療に重要であるため、実施方法を見直しし、受診率の向上に向けた取組が必要である。		



継続／現状維持	継続／現状維持	
特定健診等との同時実施等、受診者の利便性を向上し受診者数の増大を図りたい。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号5-5

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	結核検診			
評価者	担当課・係名	保健福祉課・保健係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	葛西 隆	職名
				氏名
				佐々木希美枝
事業の概要	結核の早期発見・早期治療を目的に、65歳以上の町民に対し検診を実施する。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	
	基本政策	6	保健・医療の充実	
	単位施策	2	成人保健の充実	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	35千円	12千円	84千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	35千円	12千円	84千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	65歳以上の町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	結核に罹る危険性がある		検診受診率		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	結核に罹った人が早期に治療に結びつく		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	結核の流行を防止できる		① 検診受診率	目標年度	19年度
			目標値	10%	
			実績値	5.3%	
			達成度	53%	
			②	目標年度	
				年度	
				目標値	
				実績値	
				達成度	
				%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①検診の実施	町内医療機関へ委託し、検診(胸部X線検査)を実施した				
②					
③					

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必 要	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	法律の規定により市町村に検診の実施義務がある。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input checked="" type="checkbox"/> 下回る	対象者の変更 (全町民対象から 65 歳以上町民) により、平成 18 年度以降、集団検診方式から個別検診に変更後、受診者数が激減した。目標値は下回るが、重篤な患者の発見はなく概ね有効と考える。
有効／概ね有効／課題あり		

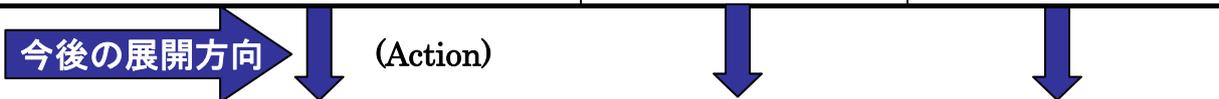
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	医療機関へ委託することで事業費・作業量は軽減されている。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
B	B	
対象者の把握・事業の周知などに改善が必要と考える。		



継続／現状維持	継続／現状維持	
対象者の把握・事業の周知方法を改善し目標値の達成を目指す。 * 事業費は、事業量 (検診受診数) により実績としては縮小となっているが予定としては目標値に合わせて増となっている		
* 展開方向の区分 <input type="checkbox"/> 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止		

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号5-6

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	エキノコックス症検診			
評価者	担当課・係名	保健福祉課・保健係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	葛西 隆	氏名
				係長
				氏名
事業の概要	エキノコックス症の早期発見・対応のため、検診（血液検査）を実施する。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	
	基本政策	6	保健・医療の充実	
	単位施策	2	成人保健の充実	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	北海道エキノコックス症対策実施要領		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	246千円	190千円	227千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	246千円	190千円	227千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	エキノコックス症に感染する危険性がある		検診受診率		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	エキノコックス症に感染している人を早期に発見し、適切な対応を受けることができる		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	適切な治療により治療できる		① エキノコックス症検診受診率	目標年度	19年度
			目標値	20%	
			実績値	21%	
			達成度	105%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
①検診の実施	住民健診としてエキノコックス症検診を実施し、所見のあった方には二次検診等を勧奨する。				
②					
③					

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	要綱により、市町村に検診実施の義務がある。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	目標値を概ね達成し有効と考える。
有効／概ね有効／課題あり		

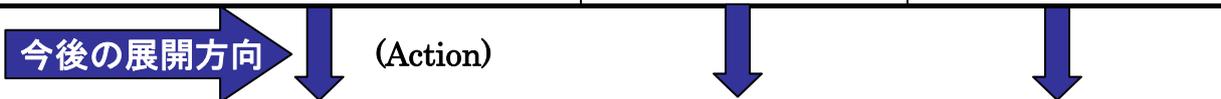
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	基本健診と同時実施により事業費を抑制することができた。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当
 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要
 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
事業費を抑制し、概ね目標値を達成することができた。		



継続／現状維持		
特定健診等他の検診との同時実施により事業費を抑制し目標値を達成するよう事業を継続する。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合
 終了
 休止
 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号5-7

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	訪問看護事業			
評価者	担当課・係名	保健福祉課・保健係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	葛西 隆	職名
				氏名
				係長
				氏名
事業の概要	医療的な支援を要する在宅の要介護者等に対し病状の観察や処置・入浴介助等の訪問看護サービスの提供が受けられるよう事業運営費の一部を負担する。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	
	基本政策	7	高齢者支援の充実	
	単位施策	1	介護サービスの充実	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	介護保険法・老人保健法		
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	700千円	700千円	700千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	700千円	700千円	700千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	要介護者等	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	病気・障害を抱えて安心して在宅生活を継続する		訪問看護サービスを利用する機会の確保								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	病状が安定して在宅生活を送ることができる		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	要介護者等の在宅生活が安定する		① 訪問看護ステーションの設置数	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1か所</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1か所</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	1か所	実績値	1か所	達成度
目標年度	19年度										
目標値	1か所										
実績値	1か所										
達成度	100%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①訪問看護ステーションの運営の補助	紋別地域訪問看護ステーションの運営費の一部を負担する。										
②											
③											

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

概ね必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	訪問看護は介護サービスの一つとして民間事業者が独自に運営できる事業であるが、利用者数が少ない地域での運営は経費面で困難なため、訪問看護サービス事業を誘致するためには町としての支援が必要と考える。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	重度の要介護者等もサービスを利用しながら在宅生活を送る事ができた。
有効／概ね有効／課題あり		

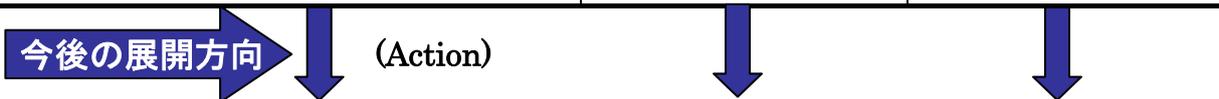
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	北海道総合在宅ケア事業団が紋別地域で広域でステーションを運営することで効率的に事業を実施することができ、町の負担も定額で効率的に運営されていると考える。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A	A	
事業の効率性から計画通り事業を進めることが適当と考える。		



継続／現状維持	継続／現状維持	
事業の安定的な運営のために、継続が必要と考える。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号5-8

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	精神障害者通所通院交通費助成事業			
評価者	担当課・係名	保健福祉課・保健係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	葛西 隆	職名
				氏名
				佐々木希美枝
事業の概要	精神障害者が町外の専門医療機関・福祉施設等へ通院・通所する際の交通費を助成する。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	
	基本政策	9	障がい者支援の充実	
	単位施策	3	社会参加の促進	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	障害者基本法・自立支援法		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	463千円	357千円	428千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	463千円	357千円	428千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	精神障害者	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	町外の専門医療機関等への定期的な通院等が必要である		事業利用者数								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	精神障害者が必要な定期通院等の機会を確保できる		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	精神障害者の心身の安定は図り在宅生活が継続できる		① 事業利用者数の増	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>85%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	20人	実績値	17人	達成度
目標年度	19年度										
目標値	20人										
実績値	17人										
達成度	85%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
① 交通費の助成	町外の精神科専門医への受診、地域活動支援センター等への通所に係る交通費を助成する。										
②											
③											

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

概ね必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	身体障害者・知的障害者と比較して障害者手帳による助成制度が十分ではなく、町外への専門施設への定期通院等が必要のため、福祉として一定の助成が必要と考える。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	事業の利用により定期通院が継続され病状の安定や在宅生活の継続等に効果がみられている。 事業の利用者が自立支援医療申請者の一部に限定されており事業の周知が必要と考える。
有効／概ね有効／課題あり		

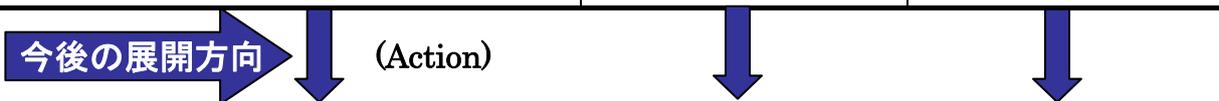
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	事務作業の軽減を図る工夫等により効率的に実施することができた。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
B	B	
事業の利用者増のための工夫が必要と考える。		



継続／現状維持	継続／現状維持	
事業利用者の増を図りながら現状通り継続する。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号5-9

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	予防接種健康被害補償			
評価者	担当課・係名	保健福祉課・保健係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	葛西 隆	職名
				氏名
				佐々木希美枝
事業の概要	雄武町が実施した予防接種に起因する副反応による健康被害を発症した町民に対し、医療費・医療手当等を給付する。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業		<input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業
	政策目標			
	基本政策			
	単位施策			
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務
	その他計画・根拠等	予防接種法		
事業コスト (実績)	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	6,069千円	6,135千円	6,141千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	1,597千円	1,552千円	1,536千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	予防接種健康被害認定者	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	定期予防接種に起因する健康障害を発症する危険性がある		法律に規定された給付の適正な実施								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	障害発症後における安定した生活を継続できる		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	定期予防接種の受診率を維持し感染症の流行を防止する		① 給付の種類・内容	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>3種類</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>3種類</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	3種類	実績値	3種類	達成度
目標年度	19年度										
目標値	3種類										
実績値	3種類										
達成度	100%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
①申請に基づく医療費等の給付	町民からの申請に基づき速やかに給付を行うとともに、適宜、情報提供を行う等、便宜を図った。										
②											
③											

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	予防接種法に規定される事務であり、町民が安心して予防接種を受診するために健康被害発生時の救済事業が必要である。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	要件に該当する給付を提供することができた。
有効／概ね有効／課題あり		

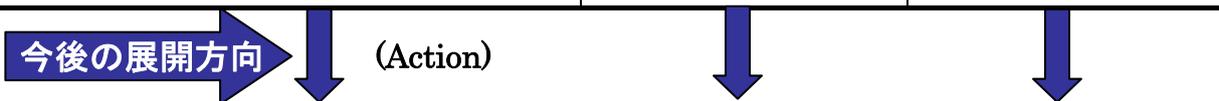
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	対象者が限定されるため、適宜対応することができた。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A	A	
対象者へは適切に事業を提供することができた。事業内容から義務的要素が強いため、20年度からは経常事業として実施することが妥当と考える。		



継続／現状維持	継続／現状維持	
経常事業として現状通り実施する。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合
 終了
 休止
 廃止

5 その他特記事項

--

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号5-10

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	予防接種事業			
評価者	担当課・係名	保健福祉課・保健係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	葛西 隆	氏名
				係長
				氏名
事業の概要	予防接種法に基づき乳幼児対象の三種混合予防接種他4種及び高齢者対象のインフルエンザ予防接種を実施する。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	
	基本政策	6	保健・医療の充実	
	単位施策	3	母子保健の充実	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	予防接種法		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	3,337千円	3,458千円	4,240千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	2,615千円	2,684千円	4,240千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	定期予防接種の対象となる町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)								
【抱える課題やニーズは】	個人及び地域における感染症の流行の危険性がある		予防接種実施率								
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	予防接種で予防可能な感染症の発症を予防する		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値							
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	感染症の個人及び地域での流行を防止する		① 乳幼児期の定期予防接種の実施率	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>19年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>90.9%</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>113.6%</td> </tr> </table>	目標年度	19年度	目標値	80%	実績値	90.9%	達成度
目標年度	19年度										
目標値	80%										
実績値	90.9%										
達成度	113.6%										
		②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
内 容 (どのような手段で何を行ったか)											
① 予防接種に関する広報	訪問・健診などの機会を通じて予防接種の必要性や受診方法を周知した。										
② 受診しやすい体制の整備	安全に受診でき、受診者の利便性を考慮して医療機関において個別接種を受けられるよう体制を整備した。										
③											

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	法により市町村に実施義務がある。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	接種率の目標はほぼ達成されており、目立った感染症の発症・流行が見られないことから有効と考える。
有効／概ね有効／課題あり		

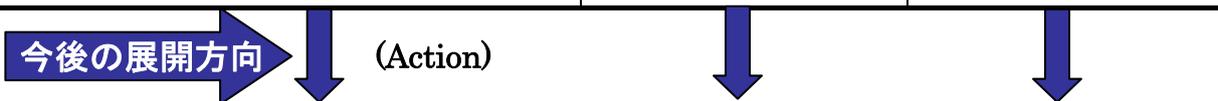
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	医療機関へ委託し、委託費については近隣町村と比較しても安価であり、効率的に実施していると考え
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
安全に効率的に実施することができたと考える。事業費が徐々に増加しているが、対象者の増によるものであり、改善の余地はないと考える。		



継続／現状維持		
法律の改正などにより対象者が増大しているため事業費が増加傾向にあるが、効率的な実施に努めながら今後も継続する事が必要である。		

* 展開方向の区分
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号5-11

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	歯科保健事業			
評価者	担当課・係名	保健福祉課・保健係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	葛西 隆	職名
				氏名
				佐々木希美枝
事業の概要	歯科健診・歯科保健指導等を通じて、虫歯・歯周疾患を予防し、生涯にわたり摂食機能を維持することにより、疾病の予防と生活の質の向上を図る。			
事業の位置付け	第5期総合計画	■登載事業		□非登載事業
	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	
	基本政策	6	保健・医療の充実	
	単 位 施 策	1	主体的な健康づくりの促進	
	事務事業の種類	■自治事務		□法定受託事務
	その他計画・根拠等	母子保健法・老人保健法		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	千円	505千円	580千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	千円	283千円	328千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	生涯にわたる歯科・口腔機能の維持を図る		3歳児歯科健診における一人平均歯本数の全道平均との比較		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	むし歯・歯周疾患の発生を防ぐ		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	おいしく食事を食べることができる歯科口腔状態を維持できる		① 3歳児歯科健診受診者の一人平均歯本数が全道平均より少ない	目標年度	19年度
			目標値	1.21	
			実績値	1.18	
			達成度	97.5%	
			②	目標年度	年度
				目標値	
				実績値	
				達成度	%
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
① 歯科保健指導の実施	乳幼児健診、成人歯科健康相談等において歯科医師・歯科衛生士が個別に歯科保健指導を行い、むし歯・歯周疾患予防に対する意識や知識の啓発を行った。				
② フッ素塗布の実施	1歳以上の幼児に対し、むし歯予防に効果のあるフッ素塗布の機会を提供した。				
③ 歯科保健に関する広報	町広報に歯科保健に関する記事を掲載し、むし歯・歯周疾患予防に対する意識や知識の啓発を行った。				

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部	歯科保健は町民の健康を守る上で重要な課題であり、基本的な歯科保健に関する意識や知識の啓発を図る事が必要である。町内近隣の歯科医院等との更なる連携と役割分担を検討する余地がある。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	事業を実施することにより目標値を達成することができた。
有効／概ね有効／課題あり		

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	乳幼児健診・住民健診や保育所事業等、関連する事業と同時に実施する等の工夫により効率的に事業を実施することができた。
効率的／概ね効率的／課題あり		

4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方等に改善が必要
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
対象者が重複する事業と同時に実施するなど効率化に努め、課題の達成に向けて事業を進める事が必要と考える。		

▶ 今後の展開方向 (Action)

継続／現状維持		
歯科医師・歯科衛生士を活用し、児童から成人を含めた歯科保健意識の向上を図り、口腔機能の維持・向上に努める。 特に、乳幼児健診に来られる保護者や成人期の町民へのアプローチ方法を再検討し、歯・口腔機能に満足感を持つ割合を高めることができるよう、事業を工夫していきたい。		

* 展開方向の区分

継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合 終了 休止 廃止

5 その他特記事項